

おおだて 市立総合病院・市立扇田病院 病院だより 第46号

おおだて病院だよりは、
市民・患者さんと
市立総合病院・市立扇田病院を
つなぐ広報誌です

2026.3

No.46

発行者: 大館市病院事業管理者 吉原 秀一
編集: 大館市立総合病院 広報委員会
住所: 大館市豊町3-1 (総合)
大館市比内町扇田字本道端7-1 (扇田)
電話: 0186-42-5370 (総合) 0186-55-1255 (扇田)
URL: <https://www.odate-hp.odate.akita.jp> (総合)
<http://www.oogita-hp.jp> (扇田)



この春、9人の研修医が巣立ちます

3月末で総合病院での2年間の研修を修了します。今後はそれぞれの専門分野へと進んでいきます。研修にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。



大館市病院事業管理者

吉原 秀一
よし はら しゅういち

近年、稀にみる大雪であった冬もようやく終わりを告げようとしております。大雪の影響で雪道での転倒や雪片付けによる腰痛や筋肉痛で皆様大変難儀をされたことと思います。県北地域の各病院では整形外科病棟が一時、満床となり他地域への転送も行われましたが、皆様のご協力もあり、なんとか切り抜けることができました。

さて、当地域ですがコロナ禍以降、人口減少が加速しており近隣の医療機関の規模縮小や機能縮小が続いております。その受け皿としての大館市立総合病院の役割もますます大きくなりつつあります。国はこれまで急性期医療、回復期医療、慢性期医療と機能分化を進めてまいりました。しかし、当地域のような人口減少が著しく高齢化が顕著な地域では、機能分化を進めるには困難を伴います。これを解決する手段として昨年、発足した地域医療連携推進法人「北鹿ヘルスケアネット」を介し、総合病院や扇田病院が多くの市民の方々の医療・介護・福祉に関わっていききたいと考えております。



紹介します

「呼吸器内科」

呼吸器内科は、呼吸という生命維持の上で重要な働きを担う“肺”の健康を守る科です。肺癌、肺感染症、気管支喘息、肺気腫、間質性肺炎など、多くの疾患に対応しています。呼吸器内科医（常勤医3名、非常勤医4名）、看護師、薬剤師、栄養士、リハビリテーション療法士、臨床工学士、放射線技師、検査技師、医療ソーシャルワーカー、事務員など、多職種でチームを結成し、一丸となって医療に取り組んでいます。チームは活気にあふれ、職場には笑顔が絶えません。我々の“元気”で、医療を受ける方の不安を払拭したいと考えています。

近年増加し重要な疾患である肺癌に対しては、呼吸器外科・放射線科と連携し、診断・治療（薬物療法・手術・放射線治療）までの一貫した



診療を行っています。また、当院は当科の開設に伴い、県北では数少ない、肺疾患による重症呼吸不全に対する高流量酸素療法や人工呼吸療法が実施可能な施設となっています。

地域の皆様が安心して医療を受けられるよう、今後もチーム全員で努力してまいります。

入院セットのご案内

当院では昨年10月より、病衣の貸与に代わり入院セットサービスを開始しました。これは入院中に必要な衣類・タオル類などを1日単位でレンタルするもので、必要な物品の買い揃えや患者さん側で洗濯をする必要がなく、常に清潔なものがお使いいただけるサービスですので、ぜひご利用ください。

●リネンセット(衣類・タオル・日用品など)

日額490円(税込539円)

※口腔ケアオプション追加の場合、日額190円(税込209円)が別途かかります

●紙おむつAセット(テープタイプ)

日額570円(税込627円)

●紙おむつBセット(パンツタイプ)

日額400円(税込440円)



総合病院2階ホールの、入院セット受付窓口にてお申込みいただけます。



受付時間 8:30～15:00
(土日・祝休日を除く)



「Future Doctor Seminar in大館」を開催しました

昨年11月15日に弘前大学大学院医学研究科「大館・北秋田地域医療推進学講座」と総合病院の共催で、高校生に医師の仕事を知ってもらうため「フューチャードクターセミナー」を開催しました。

当日は、高校1、2年生37名が参加し、医療機器を使用した外科手術や検査の体験型プログラムや医師の役割についてのミニレクチャーを行いました。

今後もセミナーを開催し、次世代の医療職を担う人材の確保を目指していきます。



外科手術体験

超音波検査体験

患者さんの声より

■「麻酔科婦人科外来の患者待ち合いについて」

小児科外来の患者さんが広がって多く使用しているため、妊婦健診時に座れる席が少なくなっている。もう少し詰めて座ってくれればと思うし、スタッフもそのように声掛けをしてもらえたらと思う。

病院から 「席の利用に配慮してまいります」

麻酔科産婦人科外来の患者待ち合い場所につきましては、ご指摘のとおり状況であることを確認しております。妊婦健診の患者さんも多く利用することから、今後はスタッフが患者さんの席について声掛けをするなど配慮いたします。

■「産後の面会について」

出産後に家族とテレビ電話ができるのはありがたかった。しかし感染対策とは思うが、子どもを夫に会わせたいと強く思ったので、立ち会いとまでは言わないが「同居家族は所定時間だけ面会可能」などのプランがあればと思う。

病院から 「面会再開に向けた取り組みをしています」

当院は地域周産期母子医療センターとして感染予防の役割を担いながら、感染状況や医師の判断に基づき慎重に対応しております。面会については、感染状況に大きく左右され、すぐにご希望に添う環境を整えられないことがあります。その中で医師と相談しながら、できる範囲で段階的な緩和を進め、短時間ではありますが妊婦さんの面会再開に向けて取り組んでいます。入院期間中に面会ができなかった状況の中で、様々な思いを抱えながらもご協力いただきましたこと、心より感謝申し上げます。

医師臨床研修病院って何？

医師免許を取得した者は、医師として基礎的・総合的な能力（知識や技術、倫理観など）を習得するために2年間研修を受けることが義務付けられており、これを初期研修と言います。この初期研修を受けられる医療機関として、厚生労働省の指定基準を満たしたのが臨床研修病院です。

この指定を受けるには、施設ごとの一定の要件（病床数や患者数など）や症例数（救急実績など）、指導体制（指導医資格など）の基準を満たす必要があります。指定を受けた後もその状態を維持・向上させるために2年に一度の見直し、4年に一度の更新を行っています。

当院は基幹型研修病院として指定を受けており、大学病院や総合診療を学ぶことができる病院、医療機器機材が乏しい離島診療所などの協力病院・施設のお力を借りて若手医師の育成に力を入れています。

地方病院にとって医師偏在問題は解決の難しい課題であり、医師不足を緩和し、医師の働き方改革推進の一手として重要な役割を担っているのが初期研修医です。市民の皆さんにご理解をいただき、研修医の育成にご協力をお願いします。

現在当院では1年次研修医8人、2年次研修医9人が在籍しており、4月からは巣立つ2年次研修医に代わって新しく9人の新人研修医が入職することが決定しています。

【研修医の仕事】

研修医それぞれが内科（4科）、外科（4科）、小児科、産婦人科、神経精神科、耳鼻咽喉科、泌尿器科などの外来、病棟を指導医に付いてローテーションしています。

このほか救命救急センターの当直業務や献血業務、健康診断業務など幅広い分野で研修しています。

連携している研修協力病院・施設

- ・弘前大学医学部附属病院
- ・秋田大学医学部附属病院
- ・日本医科大学千葉北総病院（救急）
- ・東京医科大学八王子医療センター（総合診療科）
- ・大館市立扇田病院（地域医療）
- ・秋田県厚生農業協同組合連合会
かづの厚生病院（地域医療・内科）
北秋田市民病院（内科）
- ・秋田県赤十字血液センター（内科）
- ・秋田県総合保険事業団（保健医療行政）
- ・大館園（保健医療行政）
- ・国立保健医療科学院（保健・医療行政）
- ・大館保健所（保健・医療行政）など



職員の協力による採血研修



救急研修（日本医科大学千葉北総病院）



研修医と医学生実習生のカンファレンス

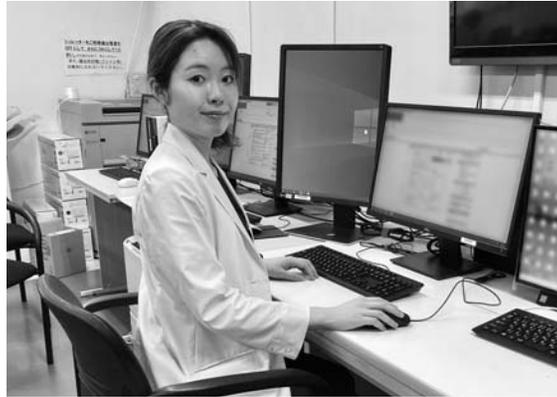
2年間の臨床研修を振り返って

私は、生まれ育った大館の医療現場で学び貢献したいと考え、当院での研修を開始しました。

1年目は、右も左も分からない中、どの科でも全力で学ぼうと必死でした。徐々にできることが増え、同時にできないことにもぶつかり、新たな課題に挑戦していく日々の繰り返しでした。次々と送り込まれる我々研修医に対して、症例ごとに診察、診断、治療、病棟管理、手技、ムンテラ（患者さんの病状や、治療法の説明）など1つ1つ丁寧に指導いただきました。2年目は大部分が自由選択プログラムであり、1年目で見つけた課題や目的に応じて集中的に経験を強化できました。

当院は院外研修プログラムも充実しており、特に鮮烈だったのは千葉北総病院での三次救急研修です。外傷患者の情報が入ると迅速にドクターヘリやドクターカーで出動し、人手を要する重症外傷の場合は昼夜問わず「トラウマコード」発令で動員され、外傷・ショック患者の命を救う現場に立ち会いました。その都度必死にできることを探して、上級医と一緒に手を動かした

研修医(3月修了) 丸山 花音



がら外傷初期診療やICU管理を学ばせていただきました。1ヶ月で習得できることには限りがありますが、急変時や日当直での初期評価・対応・思考が変わるきっかけになったと感じております。

辛い時には温かく励ましていただき、時に鼓舞激励していただき、無事ここまで研修を続けることができました。熱くご指導してくださった先生方、支えてくださったスタッフの皆様、この場を借りて感謝申し上げます。また、診療に協力してくださっている地域の皆様、本当にありがとうございます。今後もよろしくお願い申し上げます。

総合病院の取り組み紹介

今年度に行われた院内研修の一部をご紹介します。

○院内感染対策研修会（第1回）（R7.8.29）

演題「患者を守るための感染制御と感染症治療」
講師・弘前大学大学院医学研究科 臨床検査医学講座 糸賀 正道 先生

○接遇研修会（R7.10.3）

演題「あなたにとって接遇とはなんですか」
講師・秋田看護福祉大学 准教授 日沼 ゆかり 先生

○医療安全研修会（R7.10.17）

演題「ペイシエントハラスメントの防止体制の構築」
講師・岩手県立中央病院 呼吸器外科 副院長 大浦 裕之 先生

○院内感染対策研修会（第2回）（R7.11.13）

演題「院内ラウンド結果と冬季感染症対策」
講師・東北公済病院 感染症看護専門看護師 富樫 ふみ 先生

総合病院では、各種研修を通じて職員一人ひとりが医療現場の在り方について考え、地域の皆さまから持続的に信頼される病院づくりを目指しています。



扇田病院です!

理念 地域の皆様の「心の支えとなる病院」をめざします。

扇田病院診療所化について

扇田病院は、令和9年4月より地域医療連携推進法人を構成する総合病院・大館記念病院・大湯リハビリ温泉病院との連携を強化し、地域全体で入院患者の受入体制を確保するとともに、外来診療、在宅医療、健診事業を継続するための経営強化プランの見直しを進めています。病院事業では見直し案について、1月にパブリックコメントを実施し、2月には大館市在宅医療・介護連携推進協議会において説明をさせていただいたところです。

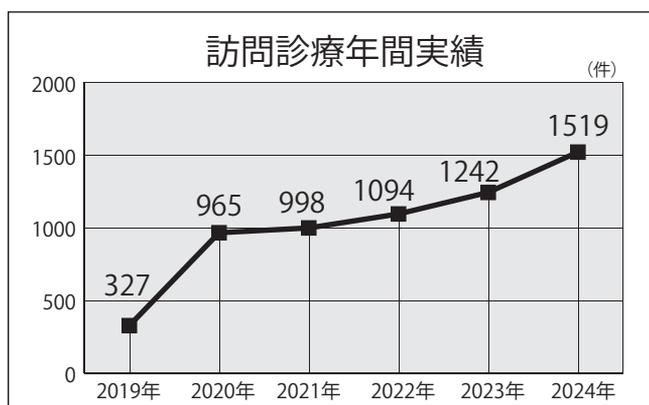
訪問診療・訪問看護について

扇田病院では、病院への通院がむずかしい方のために、医師がご自宅へお伺いする訪問診療を行っています。住み慣れたご自宅で、安心して療養生活を続けていただけるようお手伝いします。

訪問診療は主に午後に行っており、1日におおよそ10件ほど、ご自宅を訪問しています。寝たきりの方や、胃ろうなどの経管栄養を使用している方、尿道カテーテルを留置している方、点滴治療が必要な方にも対応しています。また、体調の急な変化があった際には、必要に応じて往診も行います。訪問看護や訪問リハビリテーションを併せて利用される方もおり、医師や看護師、リハビリスタッフが連携しながら、日々の体調管理や生活の支援を行っています。

病状が進行し、人生の最終段階を迎えた場合には、ご本人やご家族の思いを大切にしながら穏やかに過ごせるよう、終末期の看取りにも対応しています。ご本人がその人らしく最期まで過ごせること、そして家族が安心して寄り添えることを大切にしています。

訪問診療の利用を希望される方は、訪問担当看護師や地域連携室までお気軽にご相談ください。



扇田病院 外来診療のご案内

曜日 科名	受付開始	受付終了					備考
		月	火	水	木	金	
総合診療科	新患 8:30~	10:30	10:30	10:30	10:30	10:30	※現在通院中の患者さんについては午後は急患のみの受付となります
	再来 8:30~	11:00	11:00	11:00	11:00	11:00	
(午後外来)	新患 14:00~	休診	16:00	16:00	休診	休診	※原則再来は予約患者のみ受付となります
(夕やけ診療)	再来 16:30~	18:00	休診	休診	18:00	休診	
整形外科	新患・再来 8:30~	11:00	休診	休診	休診	休診	

総合病院 外来診療のご案内

急患対応や手術などのため、休診や受付時間を変更する場合があります。

- ◎新患(初めて当院を受診されるかた)はできるだけ紹介状(医療機関から発行される診療情報提供書)の持参をお願いしています。
- ◎新患で紹介状を持参されない場合、初診時の保険外併用療養費として、1,650円を負担していただいておりますのでご了承願います。
- ◎新患の予約およびお問い合わせは、患者サポートセンター(代表電話 42-5370 月～金 8:30～17:15)までご相談ください。

は予約が必要です。

受付開始時間

新患 8:30～ 再来 7:30～

科別受付終了時間

科名	曜日		月	火	水	木	金	備考	
	新患	再来							
呼吸器内科	新患		10:00	10:00	10:00	10:00	10:00	新患は原則として紹介状と予約が必要です。	
	再来		11:00	11:00	11:00	11:00	11:00		
循環器内科	新患		10:00	10:00	10:00	10:00	10:00	新患は原則として紹介状と予約(前日16時まで、月曜日の場合は金曜日)が必要です。	
	再来		11:00	11:00	11:00	11:00	11:00		
消化器・血液・腫瘍内科			11:00	11:00	11:00	11:00	11:00	新患は原則として紹介状が必要です。	
内分泌・代謝・神経内科	新患	9:30	甲状腺 外来	9:30	9:30	甲状腺 外来	休診	9:30	新患は原則として紹介状が必要です。 ※甲状腺外来の新患は、予約が必要です。 ※神経内科は新患、再来とも予約(前日16時まで、月曜日の場合は金曜日)が必要です。
	再来	11:00		11:00	11:00		10:00		
小児科			11:00	11:00	11:00	11:00	11:00		
神経精神科	新患	予約のみ	予約のみ	予約のみ	休診	予約のみ	予約のみ	新患は原則として紹介状と予約が必要です。 ※認知症の相談は、認知症疾患医療センター(代表42-5370)にお電話ください。	
	再来		11:00	11:00	11:00	11:00	11:00		
外科			11:00	11:00	11:00	11:00	11:00	乳がん検診は2次精査のみとさせていただきます。	
呼吸器外科	新患		10:00	10:00	10:00	10:00	10:00	新患の受付は10時までとなります。 新患は原則として紹介状が必要です。	
	再来		11:00	11:00	11:00	11:00	11:00		
産婦人科	新患	予約のみ	10:30	10:30	10:30	予約のみ	10:30	新患および再来初診(妊婦含む)は予約が必要です。	
	再来	予約のみ	10:30	10:30	10:30	予約のみ	10:30		
眼科	新患		9:00	9:00	休診	9:00	休診	新患は原則として紹介状と予約が必要です。	
	再来		予約のみ	予約のみ	予約のみ	予約のみ			
耳鼻咽喉科	新患		10:00	10:00	10:00	10:00	10:00	新患は原則として紹介状が必要です。 新患、再来ともに予約が必要です。	
	再来		予約のみ	予約のみ	予約のみ	予約のみ	予約のみ		
整形外科	新患		10:00	休診	10:00	10:00	10:00	新患は原則として紹介状が必要です。 専門外来は予約が必要です。	
	再来		11:00	11:00	11:00	11:00	11:00		
泌尿器科	新患		10:00	10:00	10:00	10:00	10:00	新患は原則として紹介状が必要です。 新患、再来ともに予約が必要です。	
	再来		予約のみ	予約のみ	予約のみ	予約のみ	予約のみ		
皮膚科	新患		9:30	9:30	休診	9:30	9:30	新患は紹介状持参で予約のかたを優先します。	
	再来		10:00	10:00		10:00	10:00		
脳神経外科	新患		11:00	11:00	11:00	11:00	11:00	新患は原則として紹介状と予約が必要です。	
	再来		11:00	11:00	11:00	11:00	11:00		
放射線科			予約のみ	予約のみ	予約のみ	予約のみ	予約のみ	新患は原則として紹介状と予約が必要です。 再来も予約が必要です。	
歯科口腔外科	新患		10:00	10:00	10:00	10:00	10:00	新患は原則として紹介状と予約が必要です。 再来も予約が必要です。	
	再来		予約のみ	予約のみ	予約のみ	予約のみ	予約のみ		

上記の表は2月中旬の情報をもとに作成していますが、診療体制の変更に伴い受付時間などが変更となる場合がありますのであらかじめご了承ください。また、変更があった場合は院内への掲示とホームページへ掲載いたします。

編集後記

休みの日は山に登って気分転換を図ることが多いです。大学時代からなのでかれこれ25年経ちますが飽きることなく続いています。当初のんびり登って日常と離れた静かな山の世界に浸ることを主に楽しんでいましたが、いつのまにか技術・体力を必要とするハードな山行を試みるようになってきました。山行中は苦しさやつらさと戦っている時間が多いので

すが、その分終わった後の充足感や満足感が大きく、さらに美しい景色に出会った時の感動がより一層心に響いてくれる気がして続けております。充実した登山のあと、明日からまた診療を頑張ろうと思えてくるので私にとってありがたい趣味です。

(広報誌編集委員長 小野 貴史)

毎日できる！

転倒予防のための簡単トレーニング

みなさんは健康寿命という言葉をご存じでしょうか。健康寿命とは健康で日常生活を支障なく送れる期間を指します。日本では平均寿命と健康寿命の間に男性で約8.5年、女性で約11.6年の差があり、この期間は生活に何らかの支障があることを意味します。転倒は高齢者にとって非常に身近な問題であり、転倒が原因で骨折や要介護状態になることが多く、健康寿命を縮める主な要因のひとつです。つまり、転倒を予防することは健康寿命を延ばすために重要な対策となります。そこで今回は転倒予防の運動をいくつか紹介したいと思います。

① 片脚立ち

片脚を床に着かない程度に上げて片脚立ちになります。できるだけまっすぐな姿勢になり、そのまま片脚立ちの姿勢を1分間保ちます。転ばないように、なにかにつかまって行いましょう。



② スクワット

足を肩幅に開き、ゆっくり膝を曲げて腰を落としていき、元に戻る動作を繰り返します。膝を曲げるときは腰を引くように2～3秒かけてゆっくりと行い、あまり深く曲げすぎないようにしましょう。また、この動作が難しい場合は、椅子からの立ち座りの動作を繰り返してみてください。テーブルに手をつけて行うなど、自分の能力に合わせて安全に行いましょう。



③ ヒールレイズ

両足で立った状態で、踵を挙げてゆっくりと降ろす動作を繰り返します。楽にできる方は片脚でも行ってみましょう。バランスに自信のない方は壁やテーブルに手をつけて行いましょう。



④ フロントランジ

腰に両手をつけて両脚で立ちます。片脚をゆっくり大きく前に踏み出し、水平になるくらいに腰を落とします。踏み出した脚を引き戻し、身体を上げて元に戻ります。



転倒予防には筋力トレーニングだけでなく、バランストレーニングや柔軟運動など多種多様な運動を組み合わせることが効果的と言われています。有酸素運動やダンス、ラジオ体操、ヨガなど無理のない範囲で取り入れてみてはいかがでしょうか。



参考

- ▶ 健康寿命の令和4年値について (厚生労働省ホームページ)
- ▶ ロコトレ (日本整形外科学会：ロコモティブシンドローム予防啓発公式サイト ロコモオンラインホームページ)

